

研究に関するホームページ上の情報公開文書

作成日：2026 年 10 月 6 日

研究課題名：診療看護師における末梢挿入型中心静脈カテーテル留置技術の Learning Curve に関する後ろ向き観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2023 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に、藤田医科大学病院、藤田医科大学ばんだね病院、藤田医科大学岡崎医療センターにおいて、対象となる Fujita Nurse Practitioner (FNP；診療看護師) 6 名が末梢挿入型中心静脈カテーテル (PICC) 留置を実施した患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は、同時期に PICC 留置の教育・研修を開始した FNP6 名について、経験症例数に伴う手技成績の変化を振り返って調査し、PICC 留置技術の習得過程を明らかにすることを目的としています。診療録および PICC 手技記録から、手技時間、一回穿刺成功率、手技交代率などを調査し、経験症例数に伴う変化を解析します。これにより、今後の PICC 教育・研修体制の改善に役立てることを目指します。

観察対象期間は 2023 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで、研究期間は倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日までを予定しています。

研究におけるデータは、個人情報保護法の趣旨に沿って厳重に管理致します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

観察対象期間は 2023 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までとします。診療録および PICC 手技記録から、以下の情報を利用します。

患者背景（年齢、性別等）、PICC 留置目的、実施施設・実施場所、カテーテルの種類・ルーメン数、挿入側・穿刺血管、手技時間、穿刺回数、一回穿刺成功の有無、手技交代の有無およびその理由、PICC 留置失敗・中止の有無、手技に関連する合併症、PICC を施行した FNP およびその累積経験症例数等。本研究は新たに患者さんに負担を強いる研究ではなく、侵襲を伴わない後ろ向き観察研究です。

4. 外部への試料・情報の提供

現在、予定はありません。

5. 研究組織

本学の研究責任者：総合消化器外科 教授 須田康一

6. 費用負担に関して

本研究において対象となる患者様ご自身が追加でご負担頂くことはありません。研究施設もしくは研究者個人に係る利益相反はありません。

7. 除外の申出・お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。**その場合には、2027年3月31日までに、**下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。**2027年4月1日以降は除外が困難となりますことをご了承ください。**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究機関の長：藤田医科大学学長 岩田仲生

研究責任者：藤田医科大学 総合消化器外科
教授：須田康一

担当者：藤田医科大学 先端ロボット・内視鏡手術学講座

診療看護師：沼田 悠希

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9254

e-mail: nmt000@gmail.com

